砂漠緑化を終えて

田主丸中学校一年　和仁　あやね

中国へのイメージは人によって違いますが、多くの人は汚い、怖いなど思っているようです。しかし、私はこのボランティアに参加して中国の本来の姿が見えてきたような気がします。確かに悪い面も見えましたが、良い面もたくさん見えました。中国の人は私たちに対して軽蔑や差別もなく積極的に話してくれました。言葉が通じなくても理解しようとしてくれました。無限のように続く沙漠に植えた私たちのポプラは、やがて森になっていくことを考えると木を植える辛さがいつの間にか喜びに変わっていったことを覚えています。

木が森になるにつれて私たちの喜びはますます強く大きくなります。日中関係がこれからもっと悪くなっても、砂漠緑化はまだまだ続くでしょう。私が今できることは、中国の素晴らしさをたくさんの人に伝えることだと思っています。